



みんなで創る 誰一人取り残さない社会

今、私たちは、新型コロナウイルス感染症の流行、貧困と格差の拡大、気候変動に伴う自然災害の多発など、数多くの解決困難な問題に直面しています。

こうした中、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」世界を実現するためには、行政、市民活動団体、地縁団体、企業等が、垣根を越えて知恵を結集し、共に力を合わせて行動するためのパートナーシップが不可欠です。

サポセンでは、多様な活動主体のパートナーシップ形成を目指し、SDGsの推進に向けて様々な分野で活動する人々が出会い、対話し、顔の見える関係を築く場として、今年度より、SDGsカフェという新規事業をスタートします。

SDGsカフェは、今後5年間、毎年3回のペースで開催する予定です。毎回、持続可能な地域づくりの最前線で活動するゲスト・スピーカーから、実践者ならではの旬な話題を提供していただき、ゲストを含めた参加者同士の深い対話の場をつくります。

キックオフとなる第1回SDGsカフェでは、複数の自治体でSDGsアドバイザーを務める高木超さんをゲストにお迎えし、SDGsの全体像を理解するための講義とグループワークを行います。
(プログラムの詳しい内容は裏面に記載)

=オンライン開催=



日 時：2021年10月24日(日) 14:00～16:30

対 象：市民活動団体、自治体、企業、SDGsに関心のある方

講 師：高木 超 さん(慶応義塾大学大学院 特任助教)

参加無料

定 員：30名(10月1日より受付開始、先着順)

申込締切：10月17日(日)

申込方法：詳細は裏面を参照・QRコードからも申込可能



内容

- ▶前半：講師の高木超さんから、SDGsの本質を深く理解ためのキーワード（トランスフォーム、バックキャスト、システムアプローチ等）の解説と各地の事例について、じっくりと話を伺います。
- ▶後半：小グループに分かれて、高木さんの講義に対する感想を共有するとともに、「SDGsを自分事化」するためのアイデアをグループ内対話を通して考え、参加者全員で共有します。

講師紹介

高木 超(たかぎ こすも)さん

- ▶慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教
- ▶国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 研究員



1986年東京都生まれ。NPO等を経て、2012年から神奈川県大和市役所の職員として住民協働等を担当。17年9月に退職し、渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体におけるSDGsのローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所（UNITAR）とクレアモント大学院大学が共催する「SDGsと評価に関するリーダーシップ研修」を修了。19年4月から現職（国連大学は同年9月着任）。内閣府地域活性化伝道師、鎌倉市SDGs推進アドバイザー、亀岡市参与（SDGsアドバイザー）、川崎市SDGs推進アドバイザー、能登SDGsラボ連携研究員。そのほか、ミレニアル世代・Z世代でSDGsを推進する団体「SDGs-SWY」を創設し、2021年3月まで共同代表。著書に『SDGs×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』（学芸出版社）『まちの未来を描く！自治体のSDGs』（学陽書房）。日本評価学会認定評価士。

▼▼お申込みはコチラ（表面QRコードからもOK!）▼▼

- ・受講される方には、前日までにメールでZOOMミーティングのURLを送ります。
- ・**受講するにはインターネットに接続できるパソコンが必要です**(カメラ・マイク・スピーカー搭載のもの)。
ブレイクアウトルームを利用したワークショップを行うため、スマホ・タブレットでの参加はできません。

＜第1回 SDGsカフェ 2021.10.24@開催＞	
所属団体名	
ふりがな お名前	
連絡先 TEL	
パソコン用 E-MAIL(必須)	
ZOOM 事前視聴テスト	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
通信欄(講座に関する質問など あれば自由にご記入ください)	

【個人情報の利用目的について】ちがさき市民活動サポートセンター事業に関する連絡にのみ利用いたします。

お申込み・お問合せ先 ちがさき市民活動サポートセンター(茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7)



TEL/FAX 0467-88-7546
E-Mail s-center@pluto.plala.or.jp
URL https://sapocen.net/